

旅行取扱状況の概観（令和 8 年 8 月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 112.1%、学生団体は同 97.0%、団体旅行合計では同 104.3%となった。企画旅行については前年比 98.7%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 100.2%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 153.5%、学生団体は同 98.2%、団体旅行合計では同 115.3%となった。企画旅行については前年比 99.8%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 107.5%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 119.7%と前年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 8 月の総取扱額は、前年比 104.8%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業の報奨旅行の取扱いが増加したことに加え、熊本地震支援関連の宿泊施設手配等の取扱いもあり、一般団体は 112.1%と前年度を上回った。

学生団体は、修学旅行の取扱いは増加するも、スポーツ大会の取扱いが大会規模の違い等により前年実績に及ばず、研修旅行の取扱いは前年を下回ったことから、学生団体旅行合計で 97.0%となった。

国内企画旅行については、前年比 98.7%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、道南、北陸、新潟方面が好調に推移するも、ファミリープランなど夏休み商品が伸び悩み、前年比 78.9%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、北海道方面や九州方面が伸び悩むも、夏祭り・花火関連の東北方面の商品他、首都圏発のバス旅行も好調に推移し、前年比 103.6%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 100.2%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、企業の視察・研修旅行、報奨旅行、スポーツイベント関連の取扱いが増加し、前年比 153.5%となった。学生団体は語学研修などの研修旅行の取扱いが、研修の実施規模の違い等により前年実績に及ばず、前年比 98.2%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 115.3%となった。

海外企画旅行については、前年比 99.8%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面に加え、アメリカ本土のスポーツ観戦ツアーが好調に推移し、前年比 103.3%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 107.5%となった。

3. 訪日旅行

個人旅行において、宿泊商品の販売が前年並みに回復したことに加え、団体旅行において、スポーツ大会関連の取扱いが増加し、訪日旅行全体では前年比 119.7%となった。